※令和４年度以降入学生用

学校番号	４０５

令和５年度　国語科

教科	国語科	科目	国語演習Ⅰ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「基礎現代文　１＋」（尚文出版）						
副教材等	「国語常識の総演習」（京都書房）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・様々な文章の問題演習に取り組み、「読む」「書く」能力を身につけましょう。
・予習として本文を読み、自分なりに問題演習に取り組み、授業で答え合わせと確認をしましょう。
・作者や、話題となっている事項について調べ、まとめ発表しましょう。
・本文の要旨をまとめ、副題をつけましょう。
・提出物の期限を守り、定期考査には学習計画をたてて臨みましょう。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】
常用漢字･熟語の知識を習得し、日常で文章を「読む」「書く」時に活用することができる。
【思考力、判断力、表現力等】
文学的文章や論理的な文章など様々な文章の問題演習を行うことにより、読む力を高める。
また､問題演習で培った力をコミュニケーションや文章表現に適切に活用することができる。
【学びに向かう力、人間性等】
ペアワークや授業内での発信、発表などの機会において、自らの意見を適切な文章･言葉を用いて表現することができる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	漢字や熟語、語句や言葉の決まりなどについて理解し、知識を身につけようとしている。	文章を的確に読み取り、自分の考えをまとめ、深めようとしている。 他者と意見交換することにより、的確に自己の意見を表現し、深め合おうとしている。	言葉を適切に理解し用いることにより、伝える力を進んで高め言語文化に対する関心を深め、国語を尊重するとともに、自己の向上を図ろうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	評論を理解する基礎力を養う ［教材］「生きる意味」 「南極で考えたこと」 「絵筆のいらない絵画教室」 「日本語案内」 「国語常識の総演習」第１回～第2回	a：基礎的な語句の意味や用法を理解している。 b[読]論旨を理解し、問題に対する答えを探ろうとする。： c：内容」の理解のみならず、表現や構成の工夫を考えて読みすすめている。	ノート 定期考査	ノート 定期考査	ノート 発表 行動観察
	長文や実用文書に取り組み、実践力の基礎を養う。 ［教材］　「独学の精神」 「外来種について考える」	a基礎的な語句の意味や用法を理解し適切に表記する。： b[書　]：自分の考えや事柄を的確に伝える c：積極的に課題により得た情報をや自己の考えをまとめる。	ノート 定期考査	ノート 定期考査	ノート 発表 行動観察
	文学的作品により、場面の変化や人物の行動、心情をつかむ。 ［教材］「water」 「時間のマナー」 「鍋の中」　「ラジオデイズ」	a：基礎的な語句の意味や用法を理解している。 b[読]：内面描写などによる場面変化や　登場人物の行動や心理を感じとる・ c　作品の感想。評価などを自分なりにまとめてる・	ノート 定期考査	ノート 定期考査	ノート 発表 行動観察
二学期	評論を理解する基礎力を向上させる。 ［教材］「不幸な国の幸福論」 「日々の生活にこそ美を」 「読書力」「名前と人間」 「国語常識の総演習」第3回～第4回」	a：実社会において必要な語句を理解し、語彙力をふやす。 b[読　]：問題意識をもち、根拠を把握しながら読み解く。 c：自ら問題意識をもって取り組み積極的に他者と意見交換をする。、	ノート 定期考査	ノート 定期考査	ノート 発表 行動観察
	長文を読むことに慣れ、図表を読み解く力をも身につける。 ［教材］「擬似科学入門」 「日本人はなぜキツネにだまされなくなったのか」	a：語句や文章の効果的な組み立てを理解している。 b[話]：他者との意見交換により批判意識をもちつつも自己の意見を深める。 c：図表を目的や意図にそって読み解き、自己の論旨を展開している。	ノート 定期考査	ノート 定期考査	ノート 発表 行動観察
	人物像をつかみ。心情の変化に留意する。韻文の鑑賞に親しむ。 ［教材］「ららのいた夏」 「社交辞令は得意ですか」 「利休にたずねよ」「口業」 「短歌。俳句」「アムリタ」 「名人伝」トワイライト」	a文章の形態や文体の違い、それぞれの作品の特色についての知識をもつ。 b[読　]人物、心情、情景などを捉え、表現の美しさ、作品の深みに気づく。 c：文体や語句、表現技法などについて理解を深めようとする。	ノート 定期考査	ノート 定期考査	ノート 発表 行動観察
三学期	評論を理解する基礎力を完成させる。 ［教材］「日本その心とかたち」 「砂の文明、石の文明、泥の文明」「映像論」 「国語常識の総演習」第5回～第6回	a：特殊な用語などについても理解し、語彙　力を高める。 b[読　]：、筆者の論拠を理解したうえで再考察し、自己の考えを広げる。 c積極的に：問題意識をもち、批判意識ももちながら考察を行っている。	ノート 定期考査	ノート 定期考査	ノート 発表 行動観察
	現代社会の抱える問題を資料を適切に読み解き、考察する。 ［教材］「ネットワーク社会の深層構造」 民主主義という不思議な仕組み」 「わかりやすいはわかりにくい?そして暮らしは共同体になる」	a現代社会の抱える問題について調べ、理解している。： b[書　]：資料を読み解くことで、筆者の論旨、論拠の再考察を行う。 c：自分なりの対処法を見つけるべく考察を行っている。	ノート 定期考査	ノート 定期考査	ノート 発表 行動観察

※令和４年度以降入学生用
※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度
※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。
※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２０　）時間
・書くこと　…　（　３０　）時間
・読むこと　…　（　２０　）時間